

森林インストラクター資格取得支援講座

「安全および教育」

2019年6月9日(日) 雨 八王子市 長池公園

森林インストラクター資格取得支援講座6日目「安全および教育」を八王子市の長池公園で実施しました。雨のため屋外での実習を取りやめ、長池公園自然館の会議室で、午前中は座学で講義と演習、午後は実習を行いました。

座学では、試験科目「安全および教育」の6つの項目、山の安全、救命・応急手当、人間と自然保護、森の民俗学、話法、企画の立て方 について解説しました。演習では各項目の過去問を使って、いろいろな出題形式に対応する回答の練習を行いました。運営スタッフから、正誤問題ではどこが正しくないのか確認することが大事とのアドバイスを頂きました。

午後は「自然観察会における危険な物を探す」実習で、植物、生き物、地形と気候、その他の4つのカテゴリーで様々な危険な物を取り上げ、その対処方法を検討しました。



座学：山の安全について



実習：傷病者の救出〔生命の兆候を観察〕

「傷病者の救出と応急手当を体験する」実習では、親子観察会のコース確認で7月の暑い日に高尾山を歩いているとき倒れている人を発見した シーンを想定して、傷病者救出の手順を体験しました。運営スタッフが熱中症で気を失って倒れているハイカー役を務め、それを発見した時の救出行動〔周囲の状況の観察、全身の状況の観察、生命の兆候の観察、救命・応急手当〕をマニュアル見ながら実行しました。

また、自然観察会やハイキングのスタッフが携行する安全装備として、ポイズンリムーバや洗浄用水ボトル、靴修理用ゴムテープ等を紹介し、全員がポイズンリムーバを実際に使用し、ゴムテープを使って靴底の剥がれを補修する処置を体験しました。最後に応急手当の実習として、三角巾を使った膝の圧迫包帯と捻挫した足首の固定包帯について体験しました。タタミ三角巾の作り方が難しく、何回も繰り返し練習しました。

参加者：氏家さん、川口さん、田代さん、星野さん、三井さん

スタッフ：岡部さん、芝原さん、横井さん

(報告：FIT友の会運営部会 槇田幹夫)





実習：自然観察会での危険な物を探す



実習：傷病者の救出〔周囲の状況の観察〕



実習：安全装備〔ポイズンリムーバを使う〕



実習：安全装備〔ガムテープで靴の応急修理〕



実習：応急手当〔タタミ三角巾を作る〕



実習：応急手当〔膝の圧迫包帯〕



自然観察：蛹から羽化したカイコガ



自然観察：赤い土用新芽（ミツデカエデ）